



2011.11.08

2011年度第2四半期
決算説明会



東洋紡
取締役社長
坂元龍三

決算のポイント

上期実績

- 震災影響あるも、営業利益は予想を上回り、当期利益黒字化
 - 環境、ライフサイエンス関連好調
 - 新製品投入など、ポートフォリオ改革進展
 - 液晶関連はディスプレイ生産調整影響。自動車関連は震災影響

通期予想

- 震災からの回復、ポートフォリオ改革効果は見込めるが、経営環境の不透明度が増しており、営業利益220億円に据え置く

(億円)

	10年度			11年度		
	上期	下期		上期	下期(予)	
売上高	1,697	1,708	3,406	1,781	1,769	3,550
営業利益	109	99	209	110	110	220
当期純利益	-19	61	42	52	38	90

目次

I	2011年度第2四半期累計決算概況
II	2011年度業績予想
III	中期計画進捗
IV	訴訟
	補足資料

I . 2011年度第2四半期決算概況

(1) 決算概要

構造改革に区切りをつけ、当期純利益は大幅増益

(億円)

	10上	10下	11上			前年同期比		直近見通し (2011/8)
			Q1	Q2		金額	%	
売上高	1,697	1,708	872	909	1,781	+84	+4.9%	1,700
営業利益 (営業利益率)	109 6.5%	99 5.8%	57 6.5%	54 5.9%	110 6.2%	+1 -	+0.9% -	100
経常利益	89	81	55	46	101	+12	+13.4%	85
当期純利益	-19	61	29	23	52	+71	-	40
EPS(円)	-2.6	8.1	3.3	2.6	5.9	-	-	4.5
減価償却費	92	99	47	48	95	+3	+2.9%	
設備投資	54	85	39	33	72	+18	+32.5%	
営業CF	179	158	-	-	96	-83	-46.3%	
為替レート(円/US\$)	89	82	82	78	80			
国産ナフサ価格(千円/KL)	46	49	59	55	57			

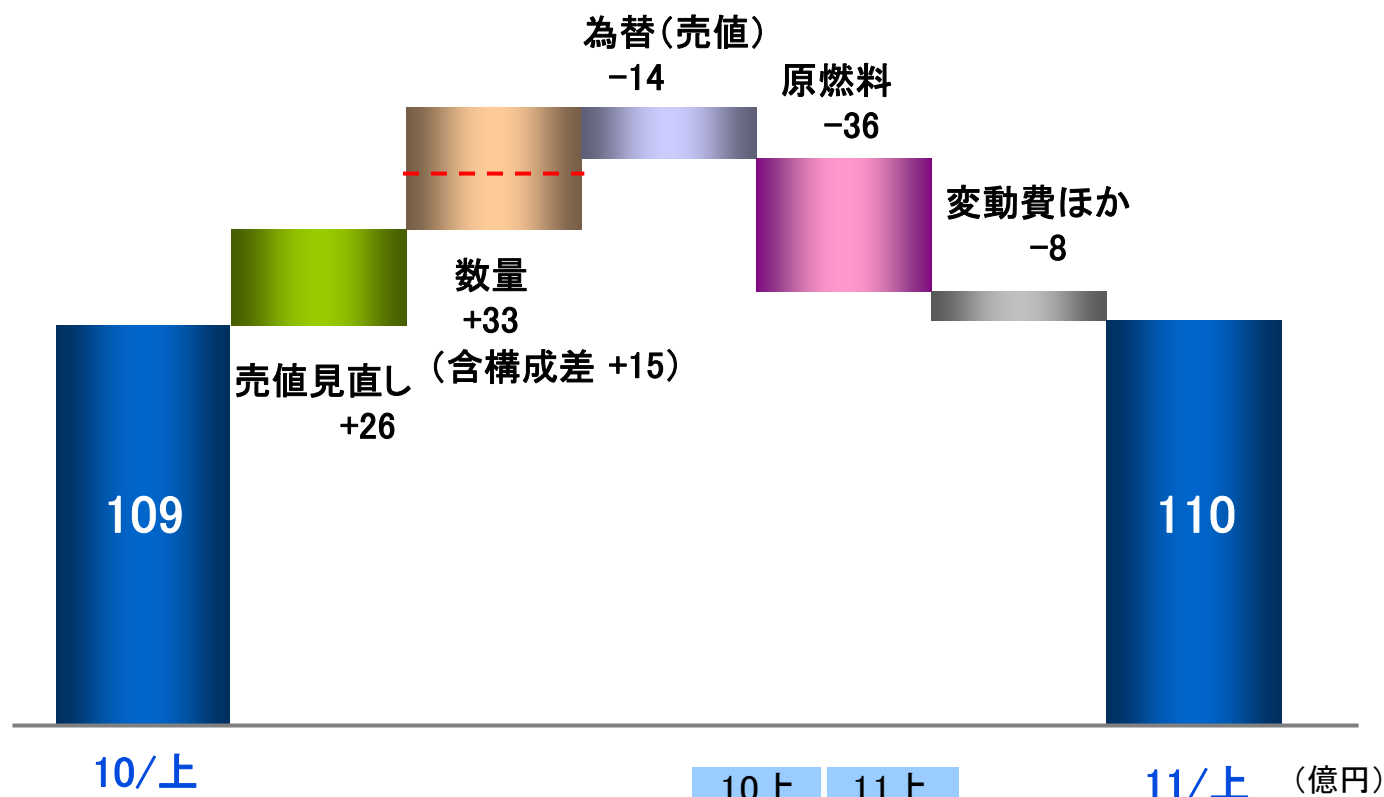
(2) 財務指標

財務体質は着実に改善

	10/3末	11/3末	11/9末	(億円) 11/3末比 増減
総資産	4,384	4,435	4,379	-57
うち棚卸資産	625	660	740	+80
純資産	1,311	1,498	1,447	-51
自己資本	1,071	1,258	1,275	+18
(自己資本比率)	24.4%	28.4%	29.1%	-
少数株主持分	240	240	172	-68
有利子負債	1,710	1,518	1,509	-9
D/E レシオ	1.60	1.21	1.18	-
(営業利益ROA)	2.6%	4.7%	5.0%	

(3) 営業利益増減要因分析 (前年同期比)

【10年度上半期→11年度上半期】



	10上	11上
円レート (¥/\$)	89	80
国産ナフサ (千円/kl)	46	57

11/上 (億円)

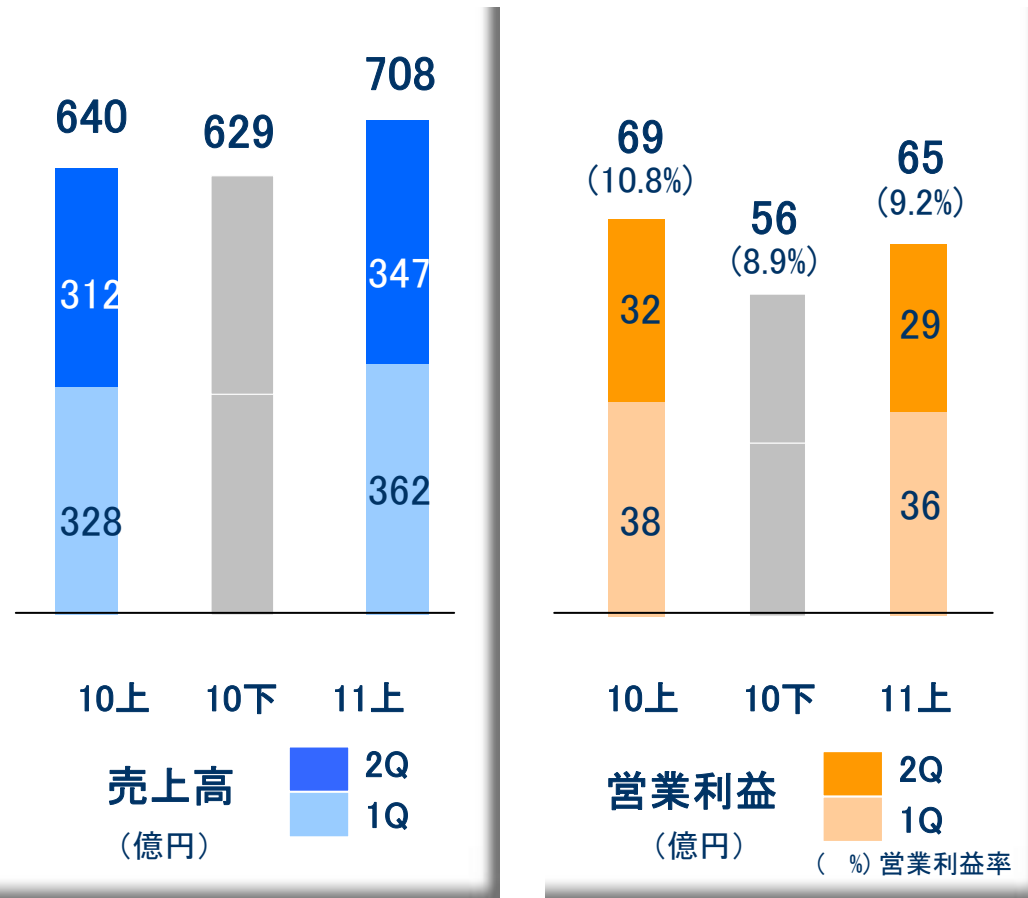
(4) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益		
	10上	10下	11上	10上	10下	11上
フィルム・機能樹脂	640	629	708	69	56	65
産業マテリアル	345	369	343	24	25	24
ライフサイエンス	149	165	156	17	20	16
スペシャルティ計 (営業利益率)	1,135	1,163	1,207	110 9.7%	102 8.7%	105 8.7%
衣料繊維	443	426	442	3	4	9
不動産・その他	120	120	132	12	11	11
消去・全社	-	-	-	-15	-17	-15
合計	1,697	1,708	1,781	109	99	110

(5)セグメント別 ①フィルム・機能樹脂

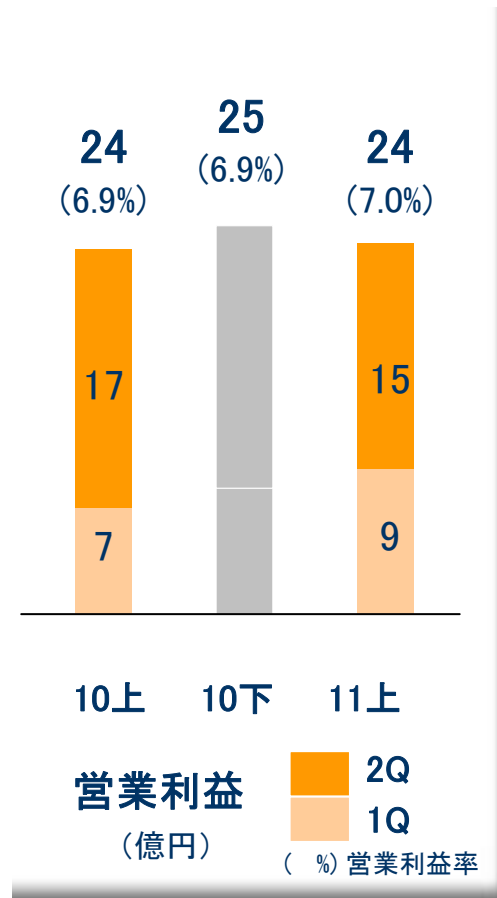
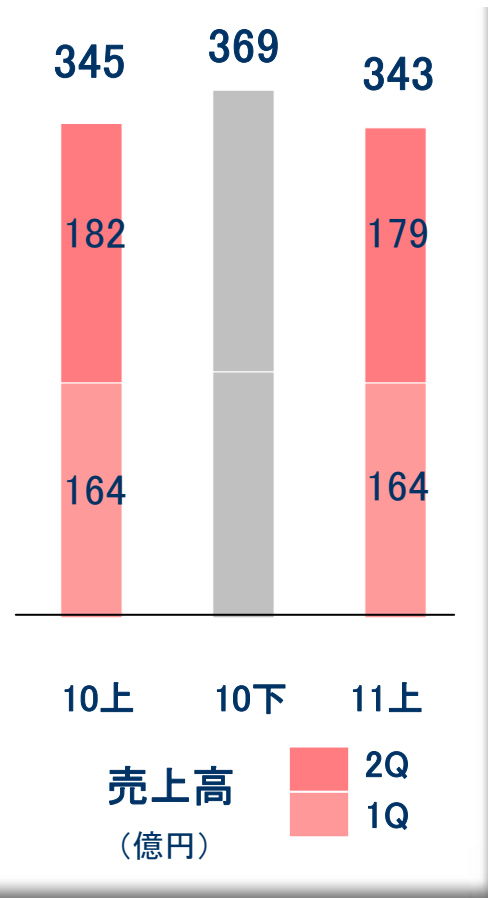
液晶関連の需給軟化で、工業用フィルム苦戦
 ポートフォリオ改革進展(フィルム、機能樹脂)



- **工業用フィルム**
 LCD関連の輸出数量減
 タッチパネル、セラコン向けは拡大
- **包装用フィルム**
 食品包装用は出荷堅調
 新シュリンクフィルム数量増も寄与
- **機能樹脂**
 バイロンは海外売上拡大
 エンプラは震災影響により数量減

② 産業マテリアル

自動車分野は震災影響大
環境関連フィルターは、好調に推移



● 機能フィルター

空調用などフィルター出荷堅調
VOC*処理装置も海外拡販進展
* 揮発性有機溶剤

● エアバッグ

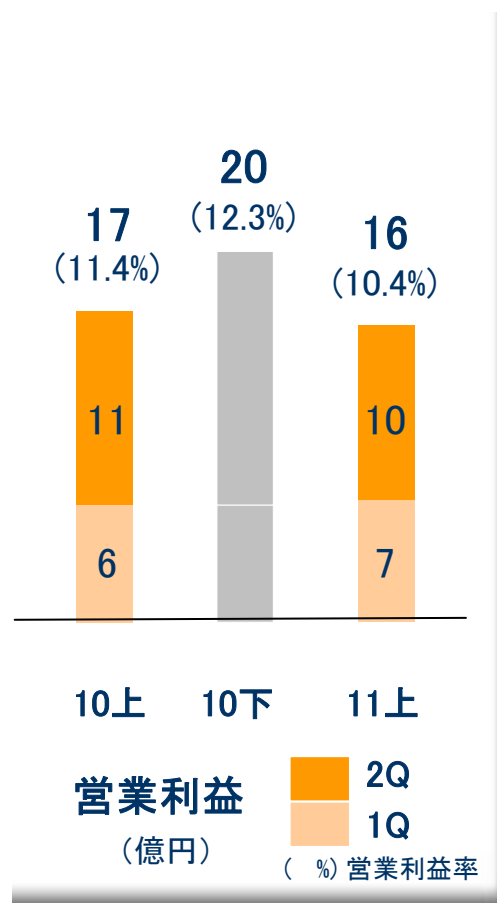
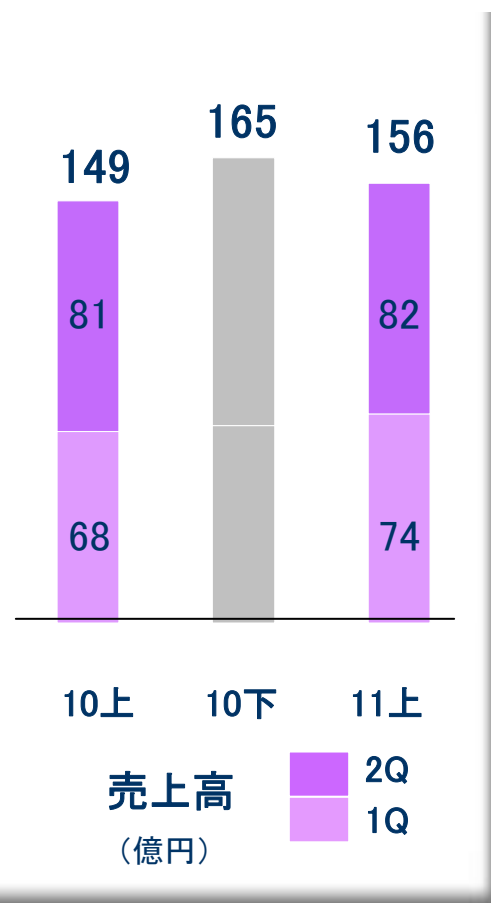
2Qから数量回復も、自動車減産の影響大

● スーパー繊維

ダイニーマなど出荷堅調

③ ライフサイエンス

為替影響あるも診断薬用酵素拡大
医薬製造受託、機能膜など需要堅調



● バイオ

血糖モニター用酵素は国内外で
出荷堅調

● 医薬

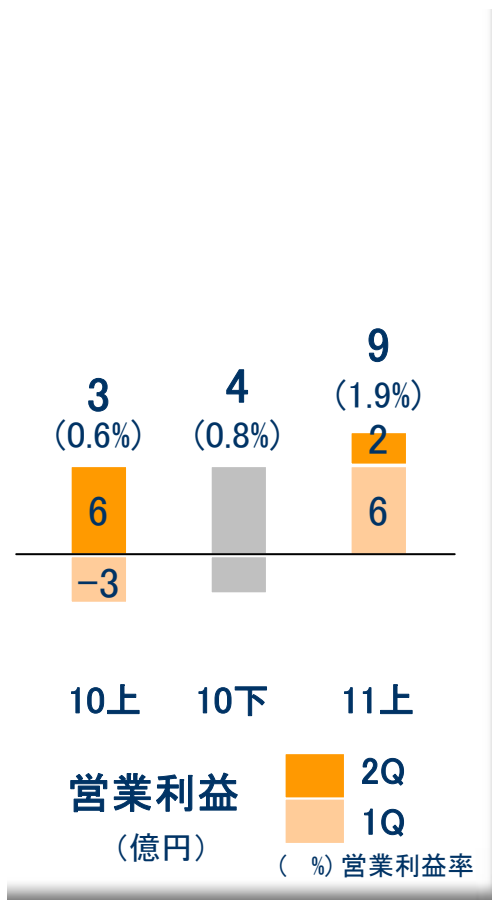
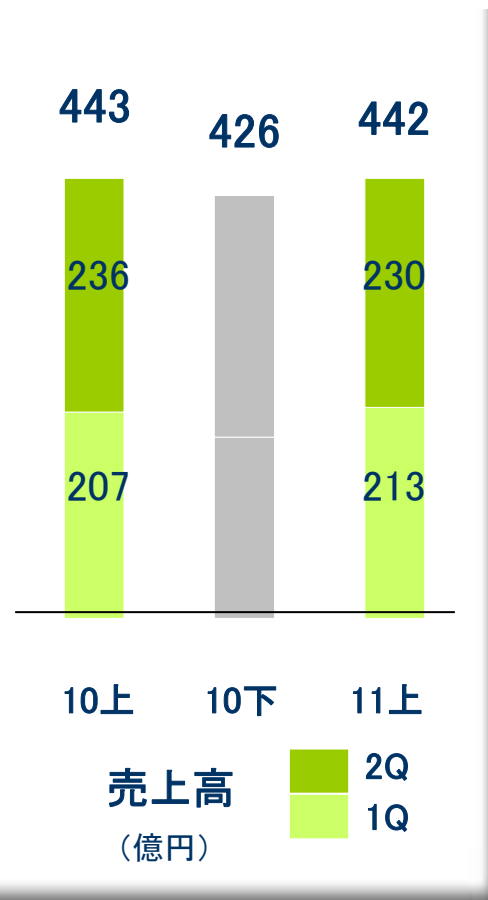
受託案件の需要拡大で増設決定

● 合成薬中間体

数量減で減益

④ 衣料繊維

インナー・スポーツ向け機能素材は売上拡大
中東向けの特化生地は数量堅調も、為替で苦戦



● 東洋紡STC

インナー・スポーツ向け機能素材好調

● 羊毛事業

生産拠点統合で構造改革進展

● アクリル繊維

特化商品により国内外需要確保

Ⅱ. 2011年度業績予想

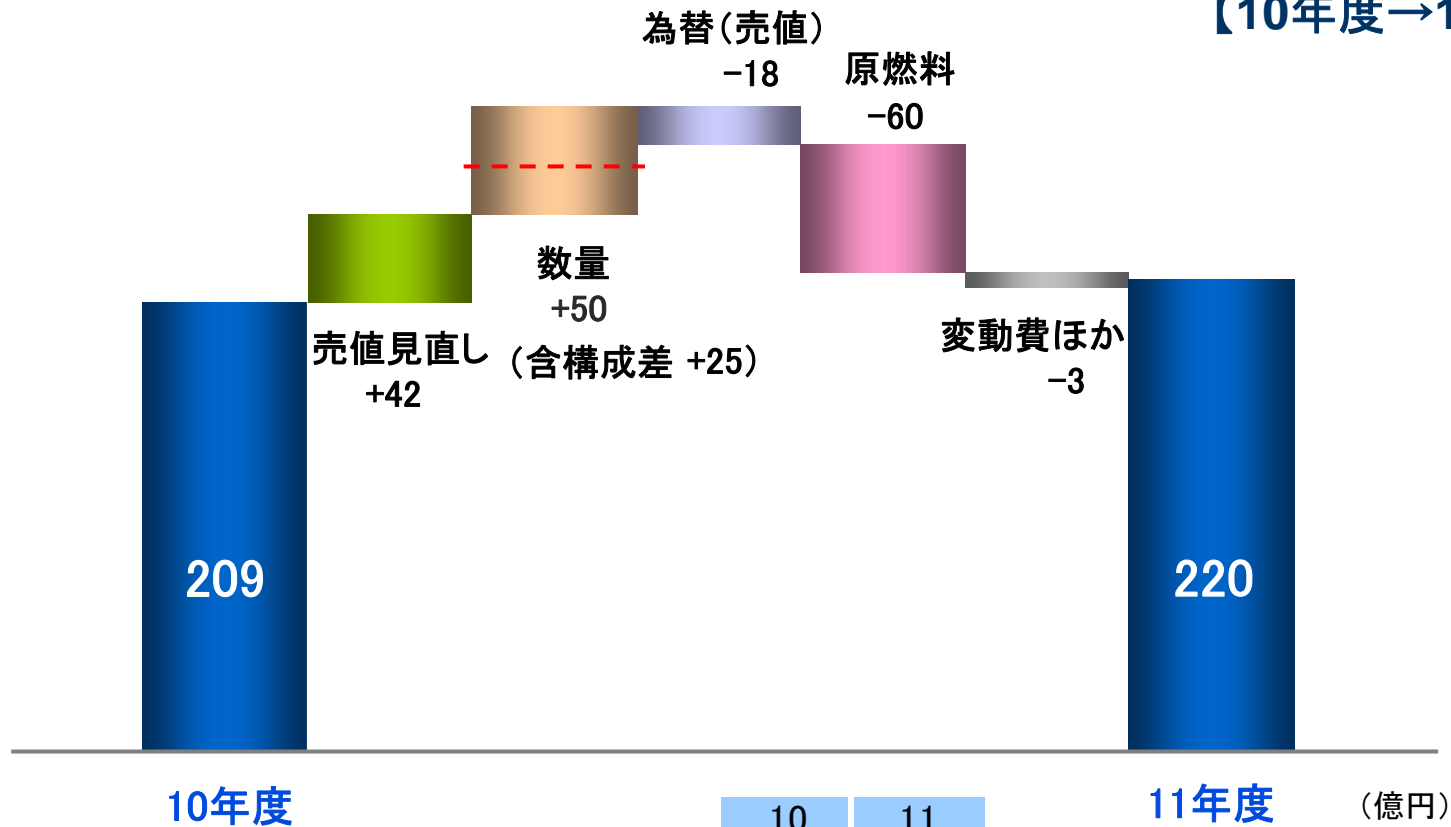
(1) 業績予想

(億円)

	10年度実績	11年度予想			増減	
		上	下		金額	%
売上高	3,406	1,781	1,769	3,550	+144	+4.2%
営業利益	209	110	110	220	+11	+5.3%
(営業利益率)	6.1%	6.2%	6.2%	6.2%	-	-
経常利益	170	101	89	190	+20	+11.5%
当期純利益	42	52	38	90	+48	+116.6%
EPS(円)	5.5	5.9	4.3	10.2	-	-
減価償却費	191	95	95	190	-1	-0.6%
設備投資	139	72	108	180	+41	+29.2%
為替レート(円/US\$)	85	80	79	79		
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	57	57	57		

(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【10年度→11年度】



	10	11
円レート (¥/\$)	85	79
国産ナフサ (千円/kl)	48	57

(億円)

(3) セグメント別内訳(予想)

	売上高				営業利益			
	10年度	11年度予想			10年度	11年度予想		
		上期	下期			上期	下期	
フィルム・機能樹脂	1,270	708	672	1,380	125	65	58	123
産業マテリアル	715	343	377	720	49	24	28	52
ライフサイエンス	314	156	184	340	37	16	21	37
スペシャルティ計	2,298	1,207	1,233	2,440	212	105	107	212
衣料繊維	868	442	428	870	6	9	6	15
不動産・その他	239	132	108	240	23	11	12	23
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-15	-30
合計	3,406	1,781	1,769	3,550	209	110	110	220

Ⅲ. 中期計画進捗

(1) めざす姿と経営方針

■ めざす姿：「環境、ライフサイエンス、高機能で、 新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」

- 成長性： スペシャルティ事業 約8%/年 成長
- 収益性・効率： ROA(営業利益／総資産) 約8%をめざす
- 安定性： D/Eレシオ1.0倍をめざす

■ 経営方針：「不断のポートフォリオ改革」

	10年度 実績	11年度 見通し	(億円) 13年度 計画
売上高	3,406	3,550	4,000
うちスペシャルティ (構成比)	2,298 67%	2,440 69%	3,000 75%
営業利益 (率)	209 6.1%	220 6.2%	300 7.5%



(2)アクションプラン

■ アクションプラン

1) 能力増強 (M&A、アライアンス含む)

2) 海外展開加速

3) 製品ポートフォリオ改革 (新製品開発)

(3) 進捗状況(抜粋)

■ セグメント

■ 進捗状況

◆ フィルム・機能樹脂

- ・ハイブリッド型フィルム新ライン増設 ('13/下 稼動)
- ・セラコン用コーター設備増設 ('11/下 稼動)
- ・塩素化PP新ライン増設 ('11/下 稼動)
- ・機能樹脂の海外生産拠点構築

◆ 産業マテリアル

- ・エアバッグ中国製造販売会社 ('12/上 稼動)
- ・ダイニーマ新設備稼働('11/下 稼動)
- ・VOC処理装置アジア展開

◆ ライフサイエンス

- ・注射剤製造設備増設 ('13/下 稼動)
- ・バイオ医薬加速

IV. 訴訟

訴訟関連

<概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05年上特損処理)
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
- ⑥ ドイツ州政府からの訴訟は、一審で管轄不存在が認められ、控訴審で和解により解決
- ⑦ セカンドチャンス社との訴訟は、11年2月に和解合意し、7月に破産裁判所の承認を得て解決
- ⑧ ポイントブランク社との訴訟は、11年7月に和解により解決

<訴訟状況>

(11.11.7現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
			アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06~07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	証拠開示 手続	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

補足資料

スペシャルティ事業と展開市場

市場	自動車	電子・ 情報表示	環境	ライフ サイエンス	生活・ 安全
セグメント					
フィルム・ 機能樹脂		液晶・光学用 フィルム	太陽電池用PETフィルム		包装用フィルム
産業 マテリアル	次世代電子材料	高融点ポリアミド樹脂	燃料電池膜		
	機能樹脂		PET新触媒		
ライフ サイエンス	変性ポリオレフィン		VOC処理装置		「ダイニーマ®」 「ブレスエアー®」
	A/B用基布	機能フィルター	機能フィルター		
	機能フィルター		水処理膜	医用膜	
				診断システム	
				診断薬用酵素	
				医薬製造受託	
				医薬中間体	化粧品原料
10年度スペシャルティ売上高(億円)	500	360	240	300	900

アクションプランと進捗状況①：(11年5月資料)

■ アクションプラン

■ 進捗状況

1) 能力増強

(M&A、アライアンス含む)

- ・ハイブリッド型フィルム新ライン増設('13/下稼動)
- ・フィルム機台改造('10/下実施・稼動中)
- ・塩素化PP新ライン増設('11/下稼動)
- ・セラコン用コーター設備増設('11/下稼動)
- ・バイオマス高融点PA新設('11/3稼動)

2) 海外展開加速

- ・エアバッグ中国製造販売会社('12/上稼動)
- ・アクア膜サウジアラビアJV('11/下稼働)
- ・機能樹脂の海外生産拠点構築
- ・VOC処理装置アジア展開

アクションプランと進捗状況②:(11年5月資料)

■ アクションプラン

3) 製品ポートフォリオ改革
(新製品開発)

4) 資産効率の改善

■ 進捗状況

【液晶汎用化への対応】

- ・タッチパネル用低干渉フィルム
- ・太陽電池バックシート用フィルム
- ・電子部品用フィルム

【新製品立上げ】

- ・高融点ポリアミド(LEDリフレクター用途ほか)
- ・新タイプシュリンクフィルム
- ・エアバッグナイロン樹脂コート布
- ・VOC処理装置
- ・診断システム(免疫診断、遺伝子診断他)

- ・スペシャルティROA:5.6%('09) → 9.4% ('10)
- ・衣料繊維の使用総資本圧縮
831億円 ('10/3) → 759億円 ('11/3)

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社